

# 保健室&もうもうボックス

## いたみのものさしは 人それぞれでいい。



### 保健室はどこにあるの？

保健室は、西棟1階にあります。教室から体育館に移動するときには必ず目にします。保健室前のろうかは「ハートフルエリア」です。静かに、ゆっくりと通りましょう。

体の調子が悪くなったとき、悩みがあって誰かに聞いてほしいとき、心や体のことで心配なことがあるときは、保健室をたずねてみましょう。



### “いたみのものさし”って？

心や体のいたみは、人それぞれ感じ方が違います。保健室ではそのことを“いたみのものさし”と表現しています。“いたみのものさし”が違うからこそ、保健室をおとずれた人のいたみを、コミュニケーションを通して知ることに努めています。

また、「誰かに相談したいのだけれど、なかなか勇気が出ない……」というときのために、保健室前には「もうもうボックス」が置いてあります。Hokuto plannerにも付いている「もうもうシート」に悩みを書き込んで、このボックスに投函することもできます。相談したい先生の名前を書くこともできます。そのときは、その先生と連絡を取り合い、相談の場を設けることもできます。

せっかく勇気を出して書いてくれた悩みには、しっかりと向き合います。もうもうシートには自分の名前を書きましょう。“いたみのものさし”は、一人一人違って当たり前です。だからこそ、心配せず、気軽に相談してください。



### あなたの相談相手は誰ですか？

# 私たちの人権

## お互いの人権を守り抜く

## すべての活動の土台



### 人権が土台になる理由は？

宮大附属中には、人権について学ぶ機会がたくさんあります。

道徳の授業はもちろん、学級や学年をこえて、全校生徒で学び合う機会もあります。

どうしてこのように、人権について学ぶ機会がたくさんあるのでしょうか。それは、お互いの人権を守り抜くことが、学校生活の土

台となるからです。お互いの人権が守られていない状況では、安心して勉強することができません。クラスで学び合うこともできません。行事に楽しく参加することもできません。人の顔色ばかりを気にしたり、不安なまま過ごしたりする学校生活は楽しくありません。すべての人の人権が守られている環境、生徒たち同士がお互いの人権を守り抜くことができている環境を、みんなでつくり、保っていくことが必要なのです。



### 1年生に求められることは？

新しい仲間たちとの学校生活が始まっていきます。宮大附属中はたくさんの小学校から仲間が集う学校です。人を見た目だけで判断したり、うわさ話などの不確かな情報に左右されたりすることで、せっかく出会った仲間の人権を傷つけてしまうことがないようにしましょう。ともに学び、活動する集団をつくっていくために、一人一人が<人権>という視点を持ちつづけて生活していくことが求められています。



あなたは人権を守り抜くために、どんなことに気を付けますか？